

第31回村野藤吾賞選考経過

第31回村野藤吾賞選考委員会は、2018年3月2日、建築家会館大会議室において、赤松佳珠子、伊東豊雄、河野晴彦、横河健の4氏と、当会代表の古谷誠章を加えた5人の選考委員全員の出席をもって開催された。

選考に先だって、村野藤吾賞は建築界に感銘を与えた作品を設計したひとりの設計者に贈る賞であることを確認した。

各委員は、改めて15の推薦作品すべての資料を閲覧した。その後、選考における議論の対象とすべき作品を各委員3作品ずつあげたところ、下記の7作品となり、この7作品を選考対象として議論することを全員が了承した。

(15の推薦作品は村野藤吾賞ホームページ「第31回村野藤吾賞推薦推薦作品について(2017年11月29日)」に掲載しています。 <http://www.muranotogoprize.com/>)

YKK80ビル(東京都、2015年)

設計者|亀井忠夫

富山県立美術館(富山県、2017年)

設計者|内藤廣

TSURUMIこどもホスピス(大阪府、2015年)

設計者|出口亮/大成建設

真福寺客殿第1期・第2期計画(長野県、2013年、2014年)

設計者|宮本佳明

水辺の家(北海道、2017年)

設計者|齋藤裕

東松島市立宮野森小学校(宮城県、2016年)

設計者|工藤和美

太田市美術館・図書館(群馬県、2016年)

設計者|平田晃久

議論すべき作品としてあげられた各作品それぞれについて、各委員が意見を述べ、絞り込みを行ったところ、以下の2作品に議論が集中した。

水辺の家(北海道、2017年)

設計者|齋藤裕

太田市美術館・図書館(群馬県、2016年)

設計者|平田晃久

議論の上、上記2作品については、まったく異なる作品であるが、いずれも他に類を見ない村野藤吾賞に相応しい作品といえるという結論を得た。

議論が尽くされたところで、挙手による投票を行い、太田市美術館・図書館の設計者、平田晃久氏が過半の票を得た。

最後に平田晃久氏に第31回村野藤吾賞を贈ることに選考委員全員が了承し、選考委員会としての決定とした。